育てたい情報活用の実践力

作情 と 適 切 な C Tなどを操作・ が、活用で の基本的な操 活用

する力

A. コンピュータやその他のICTに出会い、興味をも って使うことができる。

1.コンピュータやその他のICTに出会い, 電源の投入, 終了やマウスの操作、機器を活用する際のきまりに ついて理解することができる。

2.情報を集めるためにデジタルカメラで静止画を撮影・再 生することができるとともに、紙にまとめたものを発表す るために、デジタルテレビ・プロジェクタ・実物投影機で 拡大提示することができる。

◇ICT などを操作・活用する力と教科・単元との関連

情報手段(一CT)を適切に活用する力は、

課題を解決する力につながります。

分類	ICTなどの基本的な操作スキル・適切に活用する力	ICT機器名	ICTなどの操作スキ ル・理解	指導教科,	単元, 実	施月
	ICTの操作を理解し、 活用することができ	ICTの基本的な 操作	コンピュータやその代操作、機器を活用す			
	6 。	コンピュータ	コンピュータの電源 の投入・終了、マウ スの基本的な操作、 簡単なソフトウェア の起動・終了	生活 なかよし	いっぱい フ	だいさくせん 4〜6月
I			生など基本的な操 作	生活 なかよし 国語 はなそう,		だいさくせん 4〜6月
Tなどの		実物投影機+ デジタルテレ ビ・プロジェクタ	方や投影の仕方の			
基本的			必要に応じたピント あわせ・ライトの点 灯	生活 きせつと 国語 はなそう,		~1月
な操作	10分間に200字程度 の文字を入力するこ とができる。	文字入力に関 する基本的な 操作				
作を習		コンピュータ				
習得する	電子ファイルを整理し て適切な場所に保存 することができる。	電子ファイルに ついての基本 的な操作				
ক		コンピュータ				
	インターネットの閲覧 や電子メールの送受 信をすることができ る。	インターネット, 電子メールについての基本的な操作				
		コンピュータ, ブラウザソフト コンピュータ, メールソフト				
	情報をまとめる際に、 アプリケーションソフト の特性を生かしなが ら適切に活用すること ができる。	情報をまとめる 際のアプリケー ションソフトの 適切な活用				
		文書作成ソフト				
		表計算ソフト ブレゼンテー				
C	情報を集めたり伝え	ションソフト 情報を集める,	情報を集めるために	デジタルカメラ	で静止画を振	最多・五牛することが
Tなどを適	たりする際に情報手 段の特性を生かしな がら適切に活用する	伝える際の情報手段の適切な活用	できる。また、紙にまプロジェクタ・実物投	とめたものを発	表するために	こ, デジタルテレビ・
を適切に活用する	ことができる。	メラ、実物投影 機+デジタル	止画を撮影しての 情報収集,撮影した 静止画を再生して の情報発信,ICT活 用による,紙にまと	生活 きせつとく 生活 おり月 こんないろいろいろいろいろいろいろいろいろいろいろいろいろいろいろいろいろいろいろ	あそぼう 5 なあれ わかいとかきがん(2)・ひき (2)・ひき (2)・ひき (7)・ひき (7)・プラリア 1月	たしの はな 5~ けたよ 6月 6月 こつのかずのけいさ ざん(2) 6~9月 9月
		ションソフト+ デジタルテレ ビ・プロジェクタ				

A. 実際に見たり、体験したりしたことや、人に聞い たりしたこと、絵や写真、文章を見たり読んだり 題を解決する力 情 したことから,情報をワークシートやカードにかき 報 抜いたり、写真に撮ったりして集めることができ を集 **る**。 1.観察して情報を集めることができる。 め 2.絵や写真を見て情報を集めることができる。 3 3.文章を読んで情報を集めることができる。 4.人に質問して情報を集めることができる。 力 ※ すべ 5.デジタルカメラで撮影して情報を集めることができる。 て |A. 集めた情報と考えを基に, 文章(表現様式)や絵 の教科 情 で、伝えたいことを意識してまとめることができ 報 をまと 単元の指導で意識し 1.例に準じて絵日記や手紙などにまとめることができる。 2.伝えたいことがよくわかる組立てを考えて, ちらしなど め にまとめることができる。 る 3.キーワードを意識したり、語と語の続き方に注意したり して、簡単な文章にまとめることができる。 育成 して A. 受け手を意識して伝えることができる。 情 いく内容です。 報 1.実物を見せて伝えることができる。 を 2.紙にまとめたものを見せて伝えることができる。 3.簡単な劇で伝えることができる。 伝 4.ICTで,紙にまとめたものを拡大提示して伝えることが Ż できる。 る 5.受け手の方を見て、話をすることができる。 6.姿勢や口形を意識して、話をすることができる。 力

◆育てたい情報活用の実践力

操情作報と発 С т 適段 切 切な活用(̄┖ T) を操作 の基 活 用 本的 す る力

題

を解

Ź

力

て

の

教科

単

元

指 を

成 力

て

内

報 の

ま で

め

る

情 容で 報

を

忶

え

る

力

報

を す

集

め

る

力 す

ができる。

とができる。

B. コンピュータやその他のICTの初歩的な操作につ いて理解し、操作することができる。

- 1.コンピュータやその他のICTの構造を知り, 画像処理 ソフトで絵を描いたり、デジタルカメラで静止画を撮 影したり, 実物投影機などで拡大提示して発表したり することができる。
- 2.情報を集めるためにデジタルカメラで静止画を適切に 撮影・再生(撮影したものの確認, 消去など) することが できるとともに紙にまとめたものや実物、デジタルカメラ で撮影した静止画などを拡大提示して発表するため に、デジタルテレビ・プロジェクタ・実物投影機・デジタル カメラといったICTを活用することができる。

B. 実際に見たり、体験したりしたことや、人に聞いた

ICTの操作を理解し、 活用することができ

|指導教科,単元,実施月 キル・理解

◇ICT などを操作・活用する力と教科・単元との関連

ソフトウェアの起

いたり、デジタルカメラで静止画を撮影したり、実物投影機などで拡 大提示して発表したりすることができる。 コンピュータの構 図画工作 見つけたよ いいかんじ 4月 成の理解,画像 国語 はっぴょうしよう 9月 処理ソフトなどの 算数 三角形と四角形 12月

> 動·実行·終了 |デジタルテレビ、|算数 学習の進め方 4月

プロジェクタへの 生活 まちを たんけん 大はっけん 4~1月 出力

実物投影機+ 映したい部分の 算数 学習の進め方 4月 デジタルテレ 拡大 ビ・ブロジェクタ 生活 まちを たんけん 大はっけん 4~1月 必要に応じた画 |生活 ぐんぐん そだて みんなのやさい 5~10月

像の保存, SD 国語 分かりやすくせつめいしよう 11月 カードの挿入と保 存, 画像の投影

文字入力に関 する基本的な 10分間に200字程度 の文字を入力するこ とができる。

コンピュータ

電子ファイルに ついての基本 電子ファイルを整理し て適切な場所に保存 的な操作 することができる。

コンピュータ インターネットの閲覧 や電子メールの送受 信をすることができ

インターネット, 電子メールに ついての基本 的な操作

コンピュータ, ブラウザソフ コンピュータ, メールソフト

情報をまとめる際に、 情報をまとめる の特性を生かしなが ら適切に活用すること ができる。

際のアプリケ-ションソフトの 適切な活用

文書作成ソフ

表計算ソフト プレゼンテー ションソフト

情報を集める。 伝える際の情 報手段の適切 な活用

ブレゼンテー ションソフト+ デジタルテレ ビ・プロジェクタ

情報を集めたり伝え

たりする際に情報手 段の特性を生かしな がら適切に活用する ことができる。

影したものの確認, 消去など)することができる。また, 紙にまとめた ものや実物、デジタルカメラで撮影した写真などを拡大提示して発表するために、デジタルテレビ・プロジェクタ・実物投影機・デジタルカメ

うなどのICT機器を活用することができる

拡大提示と発信

の消去,静止画 算数 ひょう・グラフと 時計 みんなで話しあいま

デジタルカメ が要でない情報 算数 学習の進め方 4月 の消去,静止画 第数 ひょう・グラフと 時計 みんなで話しあいま メラ、実物投影 の拡大提示して 機士デジタル 発信、ICT活用に 生活 まちを たんけん 大はっけん 4~1月 テレビ・ブロジェ よる紙にまとめた 生活 ぐんぐん そだて みんなの やさい 5~ もの、実物などの 10月

生活 めざせ いきものはかせ 6~10月 国語 はっぴょうしよう 9月 国語 分かりやすくせつめいしよう 11月

国語 図書館のひみつをさぐろう 12月 算数 三角形と四角形 12月

国語 読んだお話をしょうかいしよう 3月

情報手段

 $\widehat{}$

С

J

を適切に活用する力は、

課題を解決する力につながります

りしたこと,絵や写真,文章を見たり読んだりし たことから必要な情報をワークシートやノートにか き抜いたり写真に撮ったりして集めることができ 1.観察・計測して必要な情報を集めることができる。 2.絵や写真と文章を照応させて必要な情報を集めること 3.文章から必要な言葉や文を抜き出して情報を集めるこ

4.デジタルカメラを活用して必要な情報を撮影して集め <u>ることができる。</u>

- 5.手紙で必要な情報を集めることができる。
- 6.必要なことを聞き落とさないようにメモやノートに書き取 りながら情報を集めることができる。

B. 集めた情報と考えを基に、必要な要素を落とさず に文章(表現様式)や絵で、伝えることを意識し てまとめることができる。

1.説明文にまとめることができる。

- 2.観察記録文にまとめることができる。
- 3.紹介文に必要な要素が何かを理解し、それを入れてま とめることができる。
- 4.伝える相手と伝える内容を明確にして,手紙にまとめる ことができる。
- 5.はじめ・中・おわりの構成で文章を書いている。
- 6.集めた情報を基に、絵や文章、写真などを組み合わ せ、照応させながらまとめることができる。
- 7.順序を表す表現を用いてまとめることができる。

B. 伝えたいことが伝わるように受け手を意識して伝 えることができる。

1.ICTで写真や実物、紙にまとめたものを拡大提示して 伝えることができる。

2.伝えたいことを明確にし、意識して伝えることができる。 3.声の大きさ、速さ、顔の向きに注意して、はっきりした発 音で伝えることができる。

<u>4.受け手が見やすいように立つ場所や,提示の場所など</u> <u>を考えて伝えることができる。</u>

5.提示したものをさし示しながら伝えることができる。

◆育てたい情報活用の実践力

作と適段 切の な基 活本 用的 活 Ι 闸 С す

な

る 力

を

す

る

力

す

て

の

単

元

ത 情

意識

成 る

内

で

す

報 導で

を

ま

め

力 て

報

を

伝

え

る

力

伝えることができる。

伝えることができる。

ができる。

を

め

る

- C. コンピュータやその他のICTの基本的な操作に ついて理解するとともにアプリケーションソフト の初歩的な操作ができる。
- 1.ICTで記録した静止画や動画,音声のファイルをコン ピュータに移動させることができる。
- 2.適切な指使いで自分の名前や単語などを入力するこ とができる。
- 3.指定されたフォルダに、指定されたファイル名で保存したり、ファイルを移動させたりすることができる。 4.ホームページや電子メールを作成する際のルールやマナーを理解することができる。 5.アプリケーションソフトを立ち上げ、文字を入力したり、
- 写真を挿入したりするなど情報をまとめる際の一部分
- ・ サース で活用することができる。 6.情報を集めるためにデジタルカメラで静止画及び音声を適切に撮影・録音・再生することができる。また、静止画や、プレゼンテーションソフトで作成した電子資料、 紙にまとめたもの、実物などを用いて発表する際に、 コンピュータや実物投影機・デジタルカメラ・プロジェク タ・デジタルテレビを活用することができる。

C. 実験や見学などで体験したことや, 人に会ってイ ンタビューしたこと、図書などの資料を見たり読 んだりしたことから集めた情報を比較して必要な 情報を選び、分類し整理することができる。

1.準備をした上で適切な言葉遣いでインタビューをして

2.見学する中から必要な情報を集めることができる。

4.目的に応じて図書を選び必要な情報を集めることが

5.デジタルカメラで静止画及び音声を撮影・録音・再生

情報手段

C

J

を適切に活用する力は、

課題を解決する力につながります

3.実験の中から必要な情報を集めることができる。

情報を集めることができる。

できる。

<u>し、必要な情報を集めることができる。</u> 6.辞書を使って必要な情報を集めることができる。 7.絵や写真, 文章, 図, 表, グラフ, 映像などの資料から, 必要な情報を集めることができる。 8.課題の解決に必要な実例(必要な事柄)を集めて情 報を分類することができる。 9.書かれていることや考えていることを比較して情報を 集めることができる。 10.話の中心に気をつけて聞き, 更に知りたいことを質 問するなどして情報を集めることができる。 C. 集めた情報と考えを基に、 絵や写真、文章(表 現様式)、図、表、グラフを必要に応じて組み合 わせて伝えることを意識して資料にまとめるこ とができる。 1.手紙や電子メール, はがきを書くときに必要な事柄を 把握して, 具体的な内容を盛り込みながらまとめるこ 上ができる。 2.報告の型にそって文章でまとめることができる。 3. 簡単なポスター, リーフレット, パンフレットにまとめる -とができる。 4. 簡単な新聞にまとめることができる。 5.アプリケーションソフトで文字を入力したり、写真を挿 入したりして情報をまとめることができる。 6.プレゼンテーションソフトを使って4枚程度の簡単な提 示資料にまとめることができる。 7. 文献を参照したり引用したりしてまとめることができる。 8.大切な言葉や部分を強調してまとめることができる。 C. 伝えたいことが伝わるように, 受け手を意識し て, 大切な部分を強調したり適切な言葉遣いを 用いたりして伝えることができる。 1.実物や紙にまとめたものをはじめ, コンピュータでまと めたものをICTを用いて.効果的に伝えることができる。 2.書いたものを読み合い感想を伝え合うことができる。 3.敬体と常体の使い分けを意識して適切な言葉遣いで

4.相手を見て、大切な言葉や部分を強調して伝えること

5.言葉の抑揚, 声の大きさ, 間の取り方などを注意して

6.身振り手振りを入れて伝えることができる。

\Diamond	·IC	丌 などを操	作・活	用するた	1と教科・単元との関連
	分類	ICTなどの基本的な操作スキ ル・適切に活用するカ	ICT機器名	ICTなどの操作ス キル・理解	指導教科, 単元, 実施月
		ICTの操作を理解し、 活用することができ る。	操作	ICTで記録した静山 きる。	・画や動画、音声のファイルをコンピュータに移動させることがで
		1 ※デラメテク . :乗ラメラク . :乗	メラキデジタル テレビ・プロジェ クタ 実物投影機+ デジタルテレ	出力(保存・移 動),静止画・動	理科 しぜんのかんさつをしよう 4~6月 社会 はたらく人とわたしたちのくらし 店ではたらく人 農家の 仕事 9~12月 社会 (副読本)わたしたちのくらしとはたらく人びと 工場でつく られているもの 11~12月
	I	10分間に200字程度 文の文字を入力するこ すとができる。	ビ・プロジェクタ 文字入力に関 する基本的な 操作	適切な指使いで自	分の名前や単語を入力することができる。
	Tなど		コンピュータ	適切な指使いの 理解,自分の名 前の入力	国語 ローマ字 10月
	の基本が	電子ファイルを整理して適切な場所に保存することができる。	ついての基本 的な操作	りすることができる	
	的な操作を習得する		コンピュータ	ダに指定された ファイル名で保 存、ファイルの移 動	理科 しぜんのかんさつをしよう 4~6月 国語 話し合って決めよう 9月 社会 はたらく人とわたしたちのくらし 店ではたらく人々 農家 の仕事 9~12月 社会 (副読本)わたしたちのくらしはたらく人びと 工場でつく られているもの 11~12月 算数 三角形 11月 社会 (副読本)地域や生活のうつりかわり 1月 算数 表とグラフ 1月 図画工作 アートたんけんたい 2月 社会 変わってきた人々のくらし 3月
		インターネットの閲覧 や電子メールの送受 信をすることができ る。	インターネット, 電子メールに ついての基本 的な操作	ホームページや電 る。	子メールを作成する際のルールやマナーを理解することができ
			コンピュータ, ブラウザソフト	ホームページを 作成する際の ルールやマナー の理解	社会 (副読本)わたしたちのまち 4月
			コンピュータ, メールソフト		国語 用件や気もちが伝わるように書こう 7月 社会 地域や生活のうつりかわり 地域の人びとが受けついで きたもの 1月(メールの作成)
		情報をまとめる際に、アプリケーションソフトの特性を生かしながら適切に活用することができる。	際のアプリケー ションソフトの	報をまとめる際の-	フトを立ち上げ、文字を入力したり、写真を挿入したりするなど情 一部分で活用することができる。
			文書作成ソフト	文字の入力(タイトルなど短文), 画像の挿入,印	国語 ローマ字 10月 社会 はたらく人とわたしたちのくらし 農家の仕事 12月 社会 (副読本) わたしたちのくらしとはたらく人びと 工場で つくられているもの 11~12月
	IC		表計算ソフト	刷, 文字の編集 ソフトの立ち上 げ, 数字の入力, タイトル・項目の 入力	算数 表とグラフ 1月
	-などを適!		ブレゼンテー ションソフト	げ,写真の挿入,	国語 話し合って決めよう 9月 社会 はたらく人とわたしたちのくらし 店ではたらく人々 9月 社会 (副読本)わたしたちのくらしとはたらく人びと 商店のは たらき 9~10月
	切に活用す	たりする際に情報手 段の特性を生かしな がら適切に活用する ことができる。	情報を集める。 伝える際の情 報手段の適切 な活用	ることができる。ま 料や,紙にまとめ <i>†</i>	にデジタルカメラで静止画及び音声を適切に撮影・録音・再生ず た、写真を中心に、プレゼンテーションソフトで作成した電子資 ともの、実物などを用いて発表するために、コンピュータや実物 カメラ・プロジェクタ・デジタルテレビを活用することができる。
	する		クタ	の撮影・録音・再 生、ICT活用によ る紙にまとめたも のや実物などの 拡大提示と積極 的な発信	理科 しぜんのかんさつをしよう 4~6月 社会 はたらく人とわたしたちのくらし 店ではたらく人 農家の 仕事 9,12月 社会 (副読本)かたしたちのくらしとはたらく人びと 工場でつく られているもの 11~12月 図画工作 アートたんけんたい 2月 社会 かわってきた人々のくらし 3月
			ブレゼンテー ションソフト+ デジタルテレ ビ・プロジェクタ	選択,写真を中 心にしたスライド	国語 話じ合って決めよう 9月 社会 はたらく人とわたしたちのくらし 店ではたらく人々 9月 社会 (副酰本)わたしたちのくらしはたらく人びと 商店のはた らき 9~11月



▶育てたい情報活用の実践力

作と適切な情報手段 などを操作 7な活用 段(IC Т 活 の 用 基 す 本的 る力 な

題

を

d 3

力

す

7 の

科

単

元

の

導で

識

成

て い

内

で

す

力

とができる

報

を

め

D. コンピュータやその他のICT, アプリケーションソフ トの特性を活かした活用方法を理解することがで きる。

- 1.ICTで記録した静止画・動画・音声を他のソフトに挿入し て活用するとともに、必要な静止画を選んで印刷すること ができる。
- 2.適切な指使いで単語や短い文章を入力することがで
- さる。
 3.指定されたフォルダに、適切なファイル名をつけて保存したり、ファイル名を変えて移動したり保存し直したりすることができる。
 4.インターネットのルールやマナーを理解し、キーワードを
- 組み合わせて目的のWebページを検索することがで
- 組み合わせて目的のWebペーシを検索することができる。
 5.アプリケーションソフトの特性を生かした活用の方法を理解し、情報をまとめる際に活用することができる。
 6.情報を集めるためにデジタルカメラなどで静止画及び動画、音声を適切に撮影、録音、再生することができる。また、プレゼンテーションソフトを活用し、写真や絵図、文字を組み合わせて作成した電子資料や、紙にまとめた資料などを用いて発表するために、コンピュータや実物投影機、プロジェクタ、実物投影機、デジタルテレビを適切に活用することができる。

D. 今までに経験した情報を集める方法と, アンケート やインターネットで情報を集める方法から、適切な

1.アンケートを作成,回収し,表,グラフに表して分析する ことで情報を集め整理することができる。

インターネットを活用して情報を集めることができる

3.デジタルカメラなどで静止画.動画. 音声を撮影. 録音 するなど目的に応じた方法で情報を集めることができ

4. 今まで経験した情報を集める方法から, 適切な方法を

5.必要な情報と不必要な情報を区別し、分類して情報を

選択して情報を集めることができる。

方法を選択し、必要なものと不必要なものに分類 したり、配列したりして整理することができる。

る 整理することができる。 力 6.課題を決め、調べる方法を選択し、計画を立てて情報 を集めることができる。 7.集めた情報をまとめやすいように配列して、整理するこ とができる。 8.目的や必要に応じて情報を聞き分け,自分にとって必要な情報を集めることができる。 D. 集めた情報と考えを基に、絵や写真、文章(表現様式)、図、表、グラフ、動画を組み合わせて新聞やポスター、リーフレット、コンピュータのプレゼ ンテーションソフトで作成する資料などに受け手 が興味をもって見てくれるように工夫して、伝える ための資料にまとめることができる。 1.アンケートを基に結果を分析して考えをまとめることがで 報 きる。 2、報告書の型に沿って絵や写真, 文章, 図, 表, グラフなどを効果的に組み合わせてまとめることができる。 3、新聞の目的と特性を理解し, 絵や写真, 文章, 図, 表, クラフを効果的に組み合わせてまとめることができる。 4.写真と文章を対応させてリーフレットにまとめることができ を まと め 5.アプリケーションソフトの特性を生かして情報をまとめる る ことができる。 - 上とかできる。 6、敬体と常体が混在しないようにまとめることができる。 7.引用したり要約したりしてまとめることができる。 8.吹き出しをつけたり、色を変えて分類したりするなどの工 夫をしてまとめることができる。 力 9.書いたものを読み返し、間違いを正したり、よりよい文に なるように表現を考えたりしてまとめることができる。 10.グループで意見を交わし、結果の分析をして考えをまと めることができる。 D. 伝えたいことが伝わるように受け手の状況を考え て工夫して伝え、伝え合ったときのことを振り返り、 友だちの情報の伝え方について評価することがで きる。 報 1.相手を決めて手紙で情報を伝えることができる。 2.電子資料と紙にまとめた資料をICTを活用して効果的に を 伝えることができる。 3.受け手の表情, 視線, しぐさなどの反応を見ながら伝え 伝 たい部分をさし示すなどの工夫をして伝えることができ える

4.注目してほしいところに丸やアンダーラインなどの印を けながら伝えることができる。

5.友だちの発表と自分の考えとを関連させながら伝えるこ

6.自分の発言の仕方と友だちの発言の仕方を比較して伝

え方について考えることができる。

◇ICT などを操作・活田するカと教科・単元との関連

\Diamond	IC	丌 などを操		用する力	と教科・	単元と	の関連
	分 類	情報手段の基本的な操作ス キル・適切に活用する力	情報手段名	情報手段の操作ス キル・理解	指導教科, 单	单元, 実施月	
>		ICTの操作を理解し、 活用することができ る。	操作	ICTで記録した静止 要な静止画を選んで			て活用するとともに、必
			コンピュータ デジタルカメ ラ、デジタルカ メラ+デジタル テレビ・ブロジェ クタ 実物投影機 + デジタルテレ	静止画・動画の他 ソフトへの挿入、静 止画の印刷、意図 をもった静止画 (アップ、ルーズ、 連写)・動画撮影	理科 季節と生き 国語 調べて発表	物 年間 そしよう 9月	
F		10分間に200字程度	ヒ・フロシェクタ	適切な指使いで単言	悪わ行Ⅰ↑文音を入	カオスニレができ	<u> </u>
		の文字を入力することができる。	する基本的な操作コンピュータ	単語、短文の入力			.
	情報手段の基本				理国科 天調 大震	【 4月 を報告する文章を フ 6月 ちょうと作り方を知 そしよう 9月 引く 11~12月 で説 11月 で県 1月 た方体 2月 は、きっといるよ	ろう 7月 引 2月
	な	電子ファイルを整理して適切な場所に保存	電子ファイルに ついての基本 的な操作	指定されたフォルダ えて移動したり保存	に, 適切なファイル し直したりすること	ル名をつけて保存 とができる。	したり, ファイル名を変
	操作を習得する	することができる。	コンピュータ	ダに適切なファイ ル名をつけて保 存,ファイル名を変	算数 新和線グラく、 新和のとります。 新知	、4月 を報告する文章を フ 6月 ちょうと作り方を知 そしよう 9月 つし出す世界(選 駅 11~12月 で説明しよう 11) の県 1月	ろう 7月 駅)10月 月
		インターネットの閲覧 や電子メールの送受 信をすることができ	インターネット。 電子メールに ついての基本 的な操作	インターネットのルー Webページを検索す		解し, キーワードを	組み合わせて目的の
		6 ,	コンピュータ, ブラウザソフト	合わせての検索, インターネットの	国語 調べて発表 社会 (副読本)分 理科 月の動き	きしよう 9月 安全なくらしを守る 10月	ページの作成) 火事をふせぐ 9月
l			コンピュータ、	ルールやマナーの 理解	理科 星の動き	1月	
d			メールソフト				
		情報をまとめる際に、 アプリケーションソフト の特性を生かしなが	情報をまとめる 際のアプリケー ションソフトの 適切な活用	アプリケーションソフ際に活用することが	가の特性を生かし 「できる。	た活用の方法を	里解し、情報をまとめる
	情報手段を適切に活用する	ら適切に活用することができる。	文書作成ソフト	ルなど短文),画像	国語 写真と文章 11月	ちょうと作り方を知	事リーフレット」を作ろう
			表計算ソフト	表の作成, グラフ の作成, 保存, 印 刷	理科 天気と気温 国語 調べたこと 算数 折れ線グラ	を報告する文章を	書こう 5~6月
			ブレゼンテー ションソフト	の挿入		をしよう 9月 からく 11~12月 は,きっといるよ 2	
		たりする際に情報手段の特性を生かしながら適切に活用するごとができる。 デラスメラ	情報を集める。 情報を集める。 情伝表も際の適 がある。 デジタルカメカカメカラ、デジ物学が ラーデジタル メラーデジタル メラーデジタル テレビ・ブロジェ クタ	影・録音・再生する。 や絵、図表まで字を をといて発表さます いて発表さまま からである。 ををしている。 ををしている。 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、	ことができる。また 組み合わせて作り とめに、コンピュー けることができる。 理科 季節と生き 国語 調べて発ま 図画工作 光でう 社会 きょう土を開	ブレゼンテーショ 或した電子資料や タやプロジェクタ・! 物 年間 長しよう 9月 つし出す世界 (資 引く 11~12月 まで説明しよう 11/2	1
			ブレゼンテー ションソフト+ デジタルテレ	写真や絵, 図表, 文字を組み合わせ 作成した資料を基		きしよう 9月	

社会 きょう土をひらく 11~12月 図画工作 ここには, きっといるよ 2月

こ発信

段

1

C

J

を

切に

活用

を解決する力に

なが

Ŋ

ब्र

▶育てたい情報活用の実践力

的情 な操手 作段へ J 適切 Ι С 活用 7な活用(下)の其

を集

8

3

力

※ す

7

E. 課題や目的を解決するために,適切なICTを選 択して活用することができる。

- 1.適切な指使いで文章を入力することができる。 2.フォルダを作成して、ファイルを整理・保存することがで
- 3.ブラウザ、メールソフトの基本的な操作ができ、情報の
- 3.ノノソリ、ハールノノトリン基件の以保「Fル・Cさ、情報の検索やコミュニケーションに活用することができる。 4.課題や目的を達成するために、積極的にアプリケーションソフトを活用し、情報をまとめることができる。 5.情報を集める上で適切なICTを選択・活用することができる。また、プレゼンテーションソフトを活用し、写真 や絵、図表、文字を組み合わせて作成した電子資料 や、紙にまとめた資料などを用いて発表するために、適 切なICTを選択して活用することができる。

C Т 適 切に 活 用する力は、 題を解決する力に

なが

ŋ

व

◇ICT などを操作・活用する力と教科・単元との関連

	分類	情報手段の基本的な操作ス キル・適切に活用する力	情報手段名	情報手段の操作ス キル・理解	指導教科, 単元, 実施月
	情報手段の基本	ICTの操作を理解し、 活用することができ る。	ICTの基本的な 操作		
:			コンピュータ		
			デジタルカメ ラ、デジタルカ メラ+デジタル テレビ・プロジェ クタ		
-			実物投影機+ デジタルテレ ビ・プロジェクタ		
		10分間に200字程度 の文字を入力するこ とができる。	文字入力に関 する基本的な 操作	適切な指使いで文	章を入力することができる。
			コンピュータ	文章の入力	社会 わたしたちの国土 4~6月 国語 筆者の考えをとらえ。自分の考えを発表しよう 5月 社会 かたしたちの生活と食料生産 6~10月 社会 かたしたちの生活と工業生産 10~11月 国語 説明のしかたについて考えよう 11月
					社会 情報化した社会とわたしたちの生活 12~2月 社会 わたしたちの生活と環境 3月
		電子ファイルを整理して適切な場所に保存することができる。	ついての基本 的な操作		, ファイルを整理・保存することができる。
	的な操作を習得す	7 0-27 66 08	コンピュータ	フォルダの作成, ファイルを整理・保 存	理科 天気と情報1 4月 社会 かたしたちの国土 4~6月 図画工作 アニメーションをつくろう 6月 社会 わたしたちの生活と食料生産 6~10月 理科 生命のつながり(4) 7月 社会 かたしたちの生活と工業生産 10~11月 国語 説明のしかたについて考えよう 11月 社会 情報化した社会とわたしたちの生活 12~2月 社会 わたしたちの生活と環境 2~3月

インターネットの 社会 学習の進め方 4月

ールやマナーの

理解

ブラウザの基本操作(印刷, 引用)と ショートカットの作成 社会 わたしたちの国土 わたしたちの地球 4月 理科 天気と情報1 4月 社会 わたしたちの生活と食料生産 6~10月 理科 生命のつながり(4) 7月

理科 生命のつなかり(4) 7月 国語 自分の考えをまとめて、討論しよう 9~10月 理科 天気と情報2 10月 理科 流れる水のはたらき 10月 社会 わたしたちの生活と工業生産 10~11月 社会 情報化した社会とかたしたちの生活 12~2月 国語 自分の考えを明確にして読むう 1月 社会 学習の進め方 4月

ルやマナーの理解 メールソフトの基本 理科 天気と情報2 10月 操作 社会 わたしたちの生活と工業生産 10~11月 社会 情報化した社会とわたしたちの生活 12~

情報をまとめる際に、 アプリケーションソフト の特性を生かしなが ら適切に活用すること 情報をまとめる をまとめることができる

社会 わたしたちの国土 4月 社会 わたしたちの生活と食料生産 6~10月 社会 わたしたちの生活と了業生産 10~11月 国語 理由づけを明確にして説明しよう 11月 社会 わたしたちの生活と環境 3月 プラフなど他形式 アイルの挿入, 図・表機能の活用

カ、グラフの種類

電子メールのル

コンビュータ メールソフト

社会 わたしたちの生活と国土 4~6月 社会 わたしたちの生活と食料生産 6~10月 フを他ソフトへ出

社会 わたしたちの生活で国上 * つい 社会 わたしたちの生活と食料生産 6~10月 理科 生命のつながり(4) 7月 社会 わたしたちの生活と工業生産 10~12月 国語 説明のしかたについて考えよう 11月 算数 割合 帯グラフと円グラフ 1月 社会 わたしたちの生活と環境 3月

社会 わたしたちの生活と食料生産 6~10月 ブレゼンテ-ションソフト グラフ・表の挿入 理科 生命のつながり(4) 7月

情報を集めたり伝え たりする際に情報手 段の特性を生かしな ションソフトを活用し、写真や絵、図表、文字を組み合わせて作成した電子資料 や、紙にまとめた資料などを用いて発表するために、適切なICTを選択して活月 することができる

適切な場面で,機 器の特性を生かし た効果的な活用

写真や絵, 図表, 社会 わたしたちの生活と食料生産 6~10月 グラフ, 文字, グラ 理科 生命のつながり(4) 7月 フを組み合わせて こ発信、プロジェク

E. 課題や目的に応じて, 今まで経験した情報を集 める方法を使って、必要な情報を集め、情報を 整理することができる。 を解決す 情

- 1. 漢字辞典で情報を集めることができる。
- 2.新聞の記事を読んだり、2つの記事を比較したりして情 報を集めることができる。
- 3.目的や状況に応じた聞き方(インタビュー)を理解して 情報を集めることができる。
- 4.社会的なことや統計資料から必要な情報を集めること ができる。
- 5.インターネット、電子メールの活用の仕方やルールに ついて理解し、情報を集めることができる。
- 6.適切なICTを選択・活用して情報を集めることができる。
- 7.図・表・グラフと文章を関連させながら説明されているこ とを読み取ることができる。
- 8.集めた情報の全体を見通して、必要なものを選択する ことができる。
- 9.集めた情報を目的に応じて比較したり、分類したり、配
- 列したりして、整理することができる。 E. 課題や目的に応じて, 集めた情報や知識を関連
- づけ、目的や意図に合った構成を工夫しながら、 伝え方に適した方法でまとめることができる。
- 1.活動報告書, 提案書の型に沿ってまとめることができ
- <u>2.課題や目的を達成するために、積極的にアプリケー</u> ションソフトを活用し、情報をまとめることができる。
- 3.集めた情報を基に、効果的な記事の書き方や編集の 仕方などを理解してまとめることができる。
- 4.引用したり, 実例をあげたりして, 根拠を示しまとめるこ とができる。
- 5.考えと根拠を区別してまとめることができる。 6.グラフや表を引用してまとめることができる。
- 7.複数の資料を組み合わせて新しい資料にまとめ作り 出すことができる。
- 8.矢印を効果的に使ってまとめることができる。(指し示 す矢印,動きを表現する矢印,時間の変化を表す矢印
- 9.伝えたい順序や強調したい部分に,番号や記号,印な どを入れてまとめることができる。
- E. 課題や目的に応じて, 受け手や場に応じた適 切な方法や言葉遣いで伝え合うことができると ともに、情報の伝え方について自己評価したり、 他者評価したりすることができる。

1.適切な情報手段を選択して伝えることができる。

- 2.必要に応じて共通語を使うなど,場に応じた適切な言 葉遣いで伝えることができる。
- 3.資料を提示し、伝えたい事柄に注目するような工夫を して説明や報告をすることができる。
- 4.受け手の反応を確認しながら、臨機応変に説明を補足 するなどして伝えたいことを伝えることができる。
- 5.電子資料や、紙にまとめた資料を、適切なICTを選択し
- て効果的に伝えることができる。 6.発表を聞いて感じたことを, 助言することができる。 7.書いたものを読み合って,助言し合うことができる。

※下線部で示したつけたい力は、右の表二重枠で囲まれた単元で実践することができます。

の 教 科 単 元 情 の 報 指 で 意識 成 て い 内 容 ぞ す

をま め る

を

報 伝

る



・育てたい情報活用の実践力

な操作と と適切な活用(ICT)の基 活用 る力

コンピュータやその他のICT、アプリケーションソフトの基本的な操作ができるとともに、課題や目的を解決するために適切なICTを選択し、特性を 生かした活用をすることができる。

1.10分間に200文字程度の文字を入力することができる。 2.課題や目的に合わせて適切にフォルダを作成し、活用 しやすいように分類して保存することができる。 3.課題や目的を解決するためにインターネットや電子メールの

3. 課題や目的と解決するためにインターネットや電子メールを根拠をもって選択し、インターネットや電子メールの特性を生かして活用することができる。
4. 課題や目的を達成するために、適切なアプリケーションソフトを選択し、特性を生かし効果的に情報をまとめることができる。

ことができる。 5.情報を集める上で適切なICTを選択し、特性を生かして活用することができる。また、プレゼンテーションソフトを活用し、写真や絵、図表、文字、動画などを組み合わせ、アニメーション効果などを挿入した電子資料や、紙にまとめた資料などを用いて多ための、適切なICTを選択して特性を生かして活用することができる。

情 報 を 集 め る

を解決す

Ź

※ す

の

教

科

単

元

の

指

で意識

成

て

い

内

容で

F. 課題や目的に応じて、情報を集める方法の中から 適切な方法を選択して、必要な情報を集め、集め た情報を後で使いやすいように、自分なりに工夫し て整理することができる。

1.課題や目的を解決するためにインターネットや電子メー ルを根拠をもって選択し、それぞれの特性を生かして 情報を集めることができる。

2.適切なICTを選択し、特性を生かして情報を集めること ができる。

3.時間的な見通しと、まとめたり伝えたりするときのイメー ジを基に,情報を集める方法を選択し,計画立てて情 報を集めることができる。

4.集めた情報を、後で使いやすいように、自分なりに工夫 して記録し、再構成することができる。

5.自分の考えとの共通点や相違点を明らかにしながら情 報を集めることができる。

報 を

ま

め

る

F. 課題や目的に応じて、情報をまとめる方法の中か ら適切な方法を選択し、興味関心を引き、説得力 をもつような工夫をしてまとめることができる。

段

C

T

を

適

切

ਰ

る力は、

題

するカラ

なが

g

1.絵や写真, 文章, 図, 表, グラフ, キャッチコピーなどの 特徴や効果を意識してパンフレットにまとめることができ

2.課題や目的を達成するために、適切なアプリケーション ソフトを選択し、特性を生かして効果的に情報をまとめる ことができる。

3.注や引用などの情報を加えて、意見が説得力をもつよう にまとめることができる。

4.出来事などの描写と感想を書き分けてまとめることがで きる。

5.興味を引くようにキャラクターや記号、マークなどを作 成し、効果的に挿入することができる。

F. 課題や目的に応じて, 情報を伝える方法の中から 適切な方法を選択して、伝えたいことが受け手に 印象深く伝わるように工夫して伝えることができる とともに、情報の伝え方について自己評価したり、 他者評価したりすることができる。

報 を 伝 え る

1.電子資料や,紙にまとめた資料などを用いて発表する ために、適切なICTを選択し、特性を生かして効果的に 情報を伝えることができる。

2.相手や場に応じて適切に敬語を使うことができる。

3.伝えたいことが受け手に,よく伝わるようにまとめて話す ことができる。

4.印象深く伝わるように話し方を工夫して伝えることがで

5.書き言葉と、話し言葉の違いに気づき、適切に使い分けて伝えることができる。

6.事実と意見とを区別したり、引用部分を明確にしたりして 伝えることができる。

7.受け手の反応を確認しながら、臨機応変に説明を補足 したり、問いかけやさし示し、書き込みなどの工夫をした りして、伝えたいことを伝えることができる。

8.まとめたものを伝え合い、表現の仕方や目的にてらし て、更によりよくするための助言をすることができる。

9.書いたものを発表し合い、表現の仕方に着目して、助 言し合うことができる。

◇ICT などを操作・活用する力と教科・単元との関連

類	キル・適切に活用する力	旧拟丁权加	キル・理解	拍导软件, 单儿, 天心
	活用することができ	ICTの基本的な 操作		
	∂ ₀	コンピュータ		
		デジタルカメ ラ, デジタルカ メラ+デジタル テレビ・プロジェ クタ		
		実物投影機+ デジタルテレ ビ・プロジェクタ		
情報	の文字を入力するこ	文字入力に関 する基本的な 操作	10分間に200文字	程度の文字を入力することができる。
			200字程度の文字 の入力	国語 町のよさを伝えるパンフレットを作ろう 6月 国語 自分の考えを明確に伝えよう 10月 図画工作 ドリームブラン 3月 国語 聞く人の心に届くように発表しよう 3月
本的	電子ファイルを整理して適切な場所に保存することができる。	ついての基本 的な操作	ことができる。	せて適切にフォルダを作成し、活用しやすいように分類して保存す
は操作を習得する			たフォルダの作成、フォルダやファ 成、フォルダやファ イルの分類	理科 ものの燃え方 4月 理科 体のつくりとはたらき 5月 国語 相手の意図を開き取り、自分の主張を伝えよう 5月 国語 町のよさを伝えるパンプレットを作ろう 6月 理科 生命とそのかんきょう 7月 理科 月と太陽 9月 国語 自分の考えを明確に伝えよう 10月 国語 開く人の心に届くように発表しよう 3月 社会 世界の中の日本 3月 図画工作 ドリームプラン 3月
		電子メールに ついての基本 的な操作	ターネットや電子メー	するためにインターネットや電子メールを根拠をもって選択し、イン ールの特性を生かして活用することができる。
				理科 ものの燃え方 4月 理科 体のつくりとはたらき 5月 国語 町のよさを伝えるパンフレットを作ろう 6月 理科 生命とそのかんきょう 7月 理語 自分の考えを明確に伝えよう 10月 理科 月と太陽 9月 社会 世界の中の日本 3月
				国語 町のよさを伝えるパンフレットを作ろう 6月 社会 世界の中の日本 3月
	情報手段の基本的な操作を習得す	ICTの操作を理解を ICTの操作を理解を ICTの操作を ICTのように ICTのよう ICTのよう ICTのよう ICTのように ICTのよう ICTのように ICTのよう I	様 キル・適切に活用する力 ICTの操作を理解し、 ICTの操作を理解し、 ICTの操作を理解し、 ICTの操作を理解し、 ICTの操作を理解し、 ICTの操作を理解し、 ICTの操作を理解した ICTの操作を ICTの操作 コンピューター アンティンティンタ 教験ルテンクタ 教験ルテンクタ 教験ルテンクタ 教験ルテンクタ 教験ルテンクタ マークター マークター マークター ストール を整理してする。 ICTの事件 コンピューター アンティン 関節できる。 ICTの操作 コンピューター アンターストール ICT を ICT できる。 ICT できる ICT できる ICT できる。 ICT できる。 ICT できる ICT できる。 ICT できる ICT できる。 ICT できる。 ICT できる。 ICT できる。 ICT できる。 ICT できる。 ICT できる ICT できる。 ICT でき	(CTの操作を理解し、活用することができる。) (CTの操作を理解し、活用することができる。) (CTの基本的な操作を習得する) (CTの基本的な操作を (CTの表本的な操作を (CTの表本的な操作を (CTの表本的な操作を (CTの表本的な操作 (CTの分類) (CTの表本的な操作を (CTの分類) (CTの表本的な操作を (CTの分類) (CTの表本的な操作を (CTの分類) (CTの表本的な操作を (CTの分類) (CTの分類) (CTの分類) (CTの分類) (CTの表本的な操作 (CTの分類) (CTの分類) (CTの方面) (CTの方面) (CTの方面) (CTの方面) (CTの方面) (CTの方面) (CTの存在) (CTの方面) (CTの存在) (CTの方面) (CTの存在) (CTの方面) (CTの存在) (CTの方面) (CTの存在) (CTの存在) (CTの方面) (CT

_					国語 町のよさを伝えるハンフレットを作ろう 6月 社会 世界の中の日本 3月
		アプリケーションソフト の特性を生かしなが ら適切に活用すること ができる。	際のアプリケー ションソフトの 海切なき田	果的に情報をまとめ	
ll f				※材の引用, 人書	国語 町のよさを伝えるパンプレットを作ろう 6月 社会 世界の中の日本 3月 図画工作 ドリームブラン 3月
	情報			性を生かした効果 的な活用	国語 相手の意図を聞き取り、自分の主張を伝えよう 5月 国語 町のよさを伝えるパンフレットを作ろう 6月 国語 自分の考えを明確に伝えよう 10月 算数 比例と反比例 9月 算数 よみとる算数 12月
	を適		ブレゼンテー ションソフト	定, 発表用原稿の 入力, プレゼン	国語 相手の意図を聞き散り、自分の主張を伝えよう 5月 国語 自分の考えを明確に伝えよう 10月 図画工作 ドリームプラン 3月 国語 聞く人の心に届くように発表しよう 3月
	ず	たりする際に情報手 段の特性を生かしな がら適切に活用する ことができる。	伝える際の情	レゼンテーションソ! メーション効果など	簡切なICTを選択し、特性を生かして活用することができる。また、プ アトを活用し、写真や絵、図表、文字、動画などを組み合わせ、アニ を挿入した電子資料や、紙にまとめた資料などを用いて発表するた 選択して特性を生かして活用することができる。
			ラ, デジタルカ	適切な場面で、機器の特性を生かした効果的な活用	

写直や絵 図表

を効果的に使った

資料での発信

国語 相手の意見を聞き取り、自分の主張を伝えよう 5月

文字, グラフ, 動画 国語 自分の考えを明確に伝えよう 9月

アニメーション効果 国語 聞く人の心に届くように発表しよう 3月

などを組み合わせ 図画工作 ドリームプラン 3月